

2024 年度 事業報告書

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

1 事業実施の成果

2024 年度は、「より多くの子ども達を充実した支援につなげるための体制強化」を掲げた 3 か年計画の最終年でした。前年度末の小学部教室の閉鎖を受け、小中高が同じ空間で過ごす体制に移行。異年齢の子どもたちが自然に関わり合い、支え合う姿が日常に根づいていきました。年間の在籍者は 61 名となり、多様な背景をもつ子どもたちが安心して過ごせる居場所としての役割を果たしてきました。

老朽化した旧拠点からの移転に向けては、2025 年 4 月からの新施設での運営に備え、備品整理や保護者説明、資金調達のための寄付キャンペーン（112 件・約 340 万円）などを着実に実施しました。さらに 12 月には、盛岡市中央公園内のフリースクール「blanket」の運営継承の打診を受け、関係者との丁寧な対話を経て、翌年度からの 2 拠点運営に向けた準備を開始しました。

組織内部では、2023 年度の課題を踏まえ、スタッフ間の価値共有と連携の強化に力を入れました。朝のミーティングや LINEworks による情報共有に加え、春の 2 日間集中研修や月例研修、動画学習などを通じて、目指す姿を確認し合いながらチームづくりを進めました。

運営基盤では、認定 NPO 法人としての更新（令和 6 年 3 月～令和 11 年 3 月）を無事に終え、寄付者からの信頼を継続して得られる体制を整えました。また、岩手大学教育学部との連携も続き、教育演習の実習受け入れを通じて、未来の教員を支える場にもなっています。

体験活動では、都南つどいの森での野外活動をはじめ、地域企業と連携した塗装体験や田植え・畑作業など、多彩な活動を展開。子どもたちが地域とつながりながら学ぶ機会が継続されました。

さらに、フリースクールの重要性を社会に広く伝える取り組みとして、盛岡市議会・委員会への出席や県・市の不登校支援フォーラム、進路相談イベント、各地からの視察受け入れ、講演・ラジオ出演なども行いました。

また、不登校の子どもを理解支援するためのセミナーは 2 回で延べ 38 名が参加。そして保護者向けの茶話会は、7 回で参加者は延べ 43 名。ゲストスピーカーとの対話を通じて保護者の安心や気づきにつながる時間を大切にしてきました。

多くの変化と挑戦があった一年でしたが、「今、ここにいる子どもたち」と丁寧に向き合いながら、次のステージへの基盤を整えた一年となりました。

(1) 総合教育事業

2024 年度に在籍及び利用があった児童・生徒数は 61 名でした（2023 年度 53 名）。在籍内訳は、小学生 17 名、中学生 24 名、高校生以上 20 名です。

昨年に引き続き、川上塗装工業株式会社のご協力で、断熱効果のあるペンキを塗る 7/23 ホワイトルーフプロジェクトの体験をさせていただきました。今年は ZOOMO の建屋スロープのペンキ塗り

を行い小中学生 9 名が参加しました。

また、都南つどいの森での野外活動を継続して毎月一回ペースで実施していただきました。

5/23 には㈱みんなのみらい計画が運営する紫波町にある農保連携の保育園で、初めての田植え体験をさせてもらい小学生から高校生まで 8 名が参加しました。農業体験は他に例年通の元理事の田山さんのお宅の畑で実施させていただきました。

(2) 相談事業

2024 年度の相談件数は、電話による相談が 20 件、62 件（102 名）でした。2023 年よりも増加し、特に小学校高学年から中学生のニーズが多いように感じました。年度末には小学 6 年生が中学生生活も見越して問い合わせるケースも多く、その後入会した 6 年生が「何かあったらユースセンターがある」とこの春には中学校への登校をチャレンジするなどの動きもありました。年々学校とユースセンターを併用するケースも増えています。

(3) 教育支援事業

センター長尾形が外部の団体向けに講師を務めてフリースクールの説明会をしたり、行政との関わりとして盛岡市こども相談室の評価委員、県内外からの視察受け入れなどが多くありました。

- ・ 6/21(金)盛岡市議会の 17 名所属の最大会派「盛友会」の勉強会（又川、尾形）
- ・ 7/2(火)盛岡市議会の「子ども・子育て特別委員会」（10 名）（尾形）
- ・ 9/9(月)第一回 盛岡市こども相談室 評価委員会 2024 年度から新設。評価委員として尾形が出席
- ・ 9/14(土)NPO 法人もりおかユースポート主催「もうひとつの進路合同説明会」（尾形、高橋、阿部）
- ・ 10/7(月)視察受入 釜石市の NPO 等
- ・ 11/13(水)第二回 盛岡市こども相談評価委員会
- ・ 11/15(金)視察受入 和歌山県 社会福祉法人檸檬会
- ・ 11/27(水)岩手フリースクール等情報交換会（オンライン）を実施
- ・ 12/21(土)JDDnet いわてペアレントメンター養成講座の 1 コマとして尾形が講話
- ・ 2/10(月)ラジオ収録 盛岡駅前探偵団

また、不登校セミナーや茶話会も例年通り行いました。

【不登校セミナー等】

・ 9/14（土）「もうひとつの進路合同説明会」主催：NPO 法人もりおかユースポート
岩手県内にある通信制高校や高等専修学校、フリースクール等が集まり、学校や団体の紹介や個別相談を行うイベントに尾形、高橋、学生スタッフの阿部の 3 名でブース参加。

63 組の事前予約で、主催者報告で当日は 120 名近くの参加があった。団体紹介も好評でブースでは 6 件の個別相談に対応。

・10/7(土) 菅原憲先生 (心理臨床オフィスすがわら代表 臨床心理士)

「子どもの不登校への向き合い方」

参加者 15 名

・12/14(土) 安部雅昭先生 (星槎国際高等学校 副校長)

「不登校からの自立と大人ができること～子どもの味方になる見方と適切な関わり～」

参加者 23 名

【茶話会 (保護者会)】

在籍生だけでなく子どもの不登校でお悩みの保護者の方を対象に、毎月実施(主に最終土曜日)。セミナーでの代替や未実施の月もあり、7 回で、のべ 43 名の方にご参加いただきました。

毎回ゲストスピーカーをお招きしており、不登校のお子さんのホームスクーリングを経験された方や、不登校経験のある大学生、スクールソーシャルワーカーの方、卒業生の保護者さんなどにお話しいただきました。大岡理事、本山理事にも度々参加・協力いただきくとともに、毎月スタッフも数名ずつ参加し、保護者の方の経験や想いお聞きし、学びにつなげています。

【盛岡市と岩手県の教育委員会主催の不登校対策会議に参加】

フリースクールの重要性を訴えました。行政との連携強化や補助金実現に向けた働きかけを続けています。

・7/25(木)盛岡市教育委員会主催、不登校対策委員会 (尾形：不登校対策委員として)

※4 年目

・7/27(土)岩手県教育委員会主催「不登校支援フォーラム 2024」尾形がパネリストとして登壇

・11/28(木) 岩手県教育委員会主催「不登校支援フォーラム 2024 II」大学生スタッフ大向が登壇

【岩手大学教育学部との連携】

昨年に続き「不登校に理解のある教員を一人でも多く養成する」という思いで本山理事が岩手大学で担当する「教育学演習」の前期の授業の実習先として連携し、1名の学生が参加しました。実習の最初と最後の時間の講義を盛岡ユースセンターで行い、参加学生には期間中に、ボランティアスタッフとして、フリースクールの日常を体験してもらいました。

2 事業実施に関する事項

【特定非営利活動に係る事業】

定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
総合教育事業	基礎学力サポートコース (小・中学生の不登校生等への学習等の支援)	通年	盛岡市	17人	小3 2名 小4 2名 小5 4名 小6 9名 中1 8名 中2 8名 中3 8名	15,279
	通信制高校サポートコース	通年	盛岡市	17人	高1 3名 (内2名退学) 高2 6名 高3 10名 (内1名7月卒業、1名退学)	
	高卒認定合格サポートコース	通年	盛岡市	17人	1名	
相談事業	電話による相談	通年	盛岡市	2人	20件	0
	面談による相談	通年	盛岡市	2人	102名 (62件)	
教育支援事業	不登校セミナー	2日	盛岡市	7人	38名	91
	保護者のための茶話会	7日	盛岡市	12人	43名	

貸借対照表

特定非営利活動法人盛岡ユースセンター
全事業所

[税込] (単位: 円)
2025年 3月31日 現在

《資産の部》	
【流動資産】	
(現金・預金)	
現金	225,283
普通預金	4,708,437
現金・預金計	<u>4,933,720</u>
(売上債権)	
未収金	81,426
売上債権計	<u>81,426</u>
(その他流動資産)	
立替金	88,344
他社商品券	16,300
その他流動資産計	<u>104,644</u>
流動資産合計	<u>5,119,790</u>
資産の部 合計	<u><u>5,119,790</u></u>
《負債の部》	
【流動負債】	
未払金	1,017,760
預り金	60,334
流動負債計	<u>1,078,094</u>
負債の部 合計	<u>1,078,094</u>
《正味財産の部》	
【正味財産】	
前期繰越正味財産額	2,456,735
当期正味財産増減額	<u>1,584,961</u>
正味財産計	<u>4,041,696</u>
正味財産の部 合計	<u>4,041,696</u>
負債・正味財産合計	<u><u>5,119,790</u></u>

財 産 目 録

特定非営利活動法人盛岡ユースセンター
全事業所

[税込] (単位: 円)
2025年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金

225, 283

普通 預金

4, 708, 437

東北銀行

(70, 254)

ゆうちょ銀行 (振替)

(2, 709, 442)

ゆうちょ銀行

(454, 223)

北日本銀行 (普通)

(1, 474, 518)

現金・預金 計

4, 933, 720

(売上債権)

未 収 金

81, 426

売上債権 計

81, 426

(その他流動資産)

立 替 金

88, 344

他社商品券

16, 300

その他流動資産 計

104, 644

流動資産合計

5, 119, 790

資産の部 合計

5, 119, 790

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金

1, 017, 760

預 り 金

60, 334

流動負債 計

1, 078, 094

負債の部 合計

1, 078, 094

正味財産

4, 041, 696

活動計算書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人盛岡ユースセンター

自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日

【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	10,000	
【受取寄付金】		
受取寄付金	4,349,504	
【事業収益】		
事業収益	13,251,490	
その他事業収益	235,020	
【その他収益】		
受取利息	282	
雑収益	282,152	
経常収益計		18,128,448
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
給料手当(事業)	9,786,904	
法定福利費(事業)	1,110,302	
人件費計	10,897,206	
(その他経費)		
業務委託費(事業)	28,656	
諸謝金(事業)	136,100	
印刷製本費(事業)	96,282	
会議費(事業)	59,152	
旅費交通費(事業)	94,551	
通信運搬費(事業)	440,751	
体験活動費(事業)	391,594	
消耗品費(事業)	281,586	
通学支援金	199,640	
水道光熱費(事業)	427,754	
地代家賃(事業)	702,558	
保険料(事業)	8,082	
租税公課(事業)	1,037,300	
研修費(事業)	133,000	
支払手数料(事業)	262,574	
新聞図書費(事業)	6,938	
雑費(事業)	82,049	
リース料(事業)	85,800	
その他経費計	4,474,367	
事業費計		15,371,573
【管理費】		
(人件費)		
人件費計	1,087,400	
(その他経費)		
通信運搬費	3,960	
地代家賃	78,054	
雑費	2,500	
その他経費計	84,514	
管理費計		1,171,914
経常費用計		16,543,487
当期経常増減額		1,584,961
【経常外収益】		
経常外収益計		0
【経常外費用】		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		1,584,961
経理区分振替額		0
当期正味財産増減額		1,584,961
前期繰越正味財産額		2,456,735

活動計算書

特定非営利活動法人盛岡ユースセンター
次期繰越正味財産額

[税込] (単位: 円)

自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日

4,041,696

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO 法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO 法人会計基準協議会）によっています。

2. 事業費の内訳

事業費の内訳は、以下のとおりです。

科目	総合教育事業	相談事業	教育支援事業	計
(1) 人件費				
給料手当	9,730,904		56,000	9,786,904
臨時雇用賃金	0		0	0
法定福利費	1,110,302		0	1,110,302
人件費計	10,841,206		56,000	10,897,206
(2) その他経費				
事業支出	0		0	0
業務委託費	28,656		0	28,656
諸謝金	108,100		28,000	136,100
印刷製本費	96,282		0	96,282
会議費	59,152		0	59,152
旅費交通費	94,551		0	94,551
通信運搬費	440,751		0	440,751
体験活動費	391,594		0	391,594
消耗品費	273,768		7818	281,586
通学支援金	199,640		0	199,640
水道光熱費	427,754		0	427,754
地代家賃	702,558		0	702,558
保険料	8,082		0	8,082
租税公課	1,037,300		0	1,037,300
研修費	133,000		0	133,000
支払手数料	262,574		0	262,574
接待交際費	0		0	0
新聞図書費	6,938		0	6,938
雑費	82,049		0	82,049
広告宣伝費	0		0	0
リース料	85,800		0	85,800
その他経費計	4,438,549		35,818	4,474,367
合計	15,279,755		91,818	15,371,573

3. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人等との取引
(活動計算書) 事業費 人件費 給与手当	9,786,904	4,048,265	2,831,615
(活動計算書) 管理費 人件費 給与手当	1,087,400	449,700	314,500
(活動計算書) 事業費 業務委託費	28,656	0	28,656